

あ と が き

保健管理センター教授 吉川 弘明

本号は平成 22 年度 (2010 年度) の業務報告になります。本年度は、平成 19 年度から取り組んだ学生支援 GP (新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム) の最終年度となりました。この大学教育改革の 4 年間のプロジェクトを無事終えることが出来たことは、ひとつの区切りとなりました。この中で実施された取組みは来年度 (平成 24 年度) から、共通教育プログラム「健康・自己管理」として、正課教育の中に組み込まれることになっています。

先月末、産業医科大学の学生支援 GP シンポジウムに招かれ、講演させていただく機会を得ました。産業医科大学でも、本学に 1 年遅れて学生支援 GP に取り組まれ、大学全体、卒業生の力を合わせて、未来を担う産業医の育成に取り組んでおられます。シンポジウムの席で先生方とお話をしている時に、私が衛生学の橋本和夫名誉教授にお世話になったこととお話ししたところ、産業医学は衛生学としての面もあるとのことで、その後のお話が盛り上がりました。恩師はいつまでもありがたいと思った次第です。私たちは、学生に何を残せるかと考えた場合、やはり未来を生き抜く力だと思います。その意味でも、来年度から開講される「健康・自己管理」から多くを学んで欲しいと思います。

学生支援 GP の取組みを一昨年、米国の同様の学会 (American College Health Association, ACHA) の年会 (Philadelphia) で発表したことをきっかけに、全国大学保健管理協会 (Japan University Health Association, JUHA) と ACHA の交流が始まり、今年の年会 (Chicago) では日米の大学保健管理に関するセッションを行うことになりました。また、英国の同様の学会 (The Student Health Association) とも交流が進み、英国 York で開かれる年会で日英の大学保健管理に関するセッションが 7 月に開かれます。さらに 10 月の JUHA 年会 (神戸) では日米英の合同シンポジウム開催が実現しました。これまで海外との交流が乏しかった大学保健管理の分野も海外との繋がりが広がって、知恵の共有が出来るようになると思います。

大学の国際化が進む中で、保健管理センターも皆様の信頼に応える存在でありたいと思っています。

(橋本和夫名誉教授におかれましては、平成 23 年 4 月 29 日に逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。)

2012 年 1 月